

IGABITO（伊賀びと）育成促進事業（高校連携）業務委託
公募型プロポーザル審査結果報告書

1. はじめに

伊賀市 IGABITO（伊賀びと）育成ビジョンに基づき、自らが地域の担い手となり、より良い“伊賀”を創る意識と実行力を持った若者（＝IGABITO（伊賀びと））を育成するため、市内の県立高等学校が実施する地域人材育成に関する取組、又はそれらの活動により産み出される商品・サービスのビジネス化に向けた取組へのコーディネート支援を委託する。これにより民間事業者のノウハウと創意工夫による効果的な事業の推進を目的とし、その提供が期待できる業務受託候補者を選定するため、公募型プロポーザル方式による審査を実施した。

2. スケジュール

2020（令和2）年1月17日（金）	第1回 IGABITO（伊賀びと）育成促進事業（高校連携） 業務委託プロポーザル審査委員会 （以下「審査委員会」）
2020（令和2）年1月22日（水）	手続開始の公告
2020（令和2）年2月10日（月）	参加締切（2者から申請）
2020（令和2）年2月12日（水）	質問締切
2020（令和2）年2月13日（木）	第2回審査委員会
2020（令和2）年2月17日（月）	参加資格有無通知
2020（令和2）年2月19日（水）	質問回答
2020（令和2）年3月12日（木）	企画提案書等受付締切
2020（令和2）年3月18日（水）	第3回審査委員会
2020（令和2）年3月23日（月）	プレゼンテーション及びヒアリングの実施 第4回審査委員会

3. 審査委員会

（1）IGABITO（伊賀びと）育成促進事業（高校連携）業務委託プロポーザル審査委員会設置要綱第3条第1項に基づき、次の5名を委員とする審査委員会を設置した。

※委員長・副委員長を互選

委員長	宮崎 寿	伊賀市企画振興部長
副委員長	中矢 裕丈	伊賀市産業振興部商工労働課長
委員	東 浩一	伊賀市企画振興部地域づくり推進課長
委員	一路 勝巳	伊賀市企画振興部広聴情報課長
委員	中 映人	伊賀市教育委員会事務局教育総務課長

(2) 事務局

伊賀市企画振興部総合政策課

4. 審査経過

(1) 第1回審査委員会

開催日 2020（令和2）年1月17日（金）

場 所 伊賀市役所 庁議室

欠席者 1名

概 要 ①確認事項

- ・実施スケジュール（案）について
- ・業務委託の概要について
- ・実施要領（案）について

②協議事項

- ・審査委員長及び副委員長の選任について
- ・評価基準について

(2) 第2回審査委員会

開催日 2020（令和2）年2月13日（木）

場 所 伊賀市役所 庁議室

欠席者 なし

概 要 ①確認事項

- ・応募状況及び参加資格の有無について

②協議事項

- ・評価基準書（案）及び採点表（案）について
- ・プレゼンテーション及びヒアリング審査実施要領（案）について

(3) 第3回審査委員会

開催日 2020（令和2）年3月18日（水）

場 所 伊賀市役所 庁議室

欠席者 なし

概 要 ①確認事項

- ・評価基準の確認について
- ・提案見積額（評価点）について

②協議事項

- ・企画提案書等について
- ・質問事項について
- ・プレゼンテーション及びヒアリング審査当時の流れ及び事務分担

(4) プレゼンテーション及びヒアリング審査

開催日 2020（令和2）年3月23日（月）

場 所 伊賀市役所 庁議室

概 要 ①プレゼンテーション

②ヒアリング審査

(5) 第4回審査委員会

開催日 2020（令和2）年3月23日（月）

場 所 伊賀市役所 庁議室

概 要 ①協議事項

- ・優秀者及び次点者の特定
- ・全体講評及び個別講評について

5. 審査結果

(1) 最優秀者 A：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

住所 三重県多気郡多気町多気32-2

(2) 評価点【得点順】

審査項目	配点	A	B
事業への理解度	5	4.2	4.0
業務項目	45	31.6	33.4
取組体制・遂行能力	30	22.0	20.8
加点	5	4.6	4.2
見積	15	1.0	1.0
小計	100	63.4	63.4
委員合計	500	317	317
減点（※）	—	—	▲5
合計	500	317	312
順位		最優秀者	次点者

全委員の平均値

※減点対象となる事象ごとに全委員の合計点から5点を減点する。

6. 審査講評

(1) 全体講評

2020（令和2）年1月22日（水）から2月10日（月）までの期間で参加募集を行ったところ2者から応募があり、両社から3月12日（木）の期限までに企画提案書の提出があった。

3月23日の審査では、企画提案書に基づき、1者あたり20分以内のプレゼンテーションと20分程度のヒアリング審査を実施し、総合的な評価を行った。

「事業への理解度」では、本業務実施にあたり本市のまち・ひと・しごと創生に関する現状と課題について確認した。

「業務項目」では、高等学校取組推進コーディネート支援として、市内3つの県立高等学校が実施するそれぞれの育成コンテンツ及びビジネス化に向けた取組について、提案のコンセプト及び実現に向けた手法や手順を求め、取組に際し重要なポイントとなる学校側との協働、連携に係る調整力を確認した。高等学校連携コーディネート支援では、市内外の高校連携についての提案を求めた。効果検証・分析では、本事業による効果の調査、分析の手法について提案を求めた。

「取組体制・遂行能力」では、人員体制及び業務従事者の実績及びプレゼンテーションにおける資料調整力及び説得力等について評価を行った。

「加点」では、本業務の遂行にあたり有益となる追加提案、また、その実現性や具現性について提案を求めた。

各提案者からは、それぞれの得意とする分野を活かした提案が出され、審査委員からのヒアリング質疑に対しても真摯に応答し、的確な回答をいただくことができ、両者とも本業務を遂行しうる能力を有していると評価した。

審査委員会において、総合評価による最優秀者の特定に至ったが、次点者の提案についても十分評価できるものであり、甲乙付け難い中、本業務の今後の発展性、各学校の自立自走の可能性に主眼を置いて評価を行った。

今後、審査委員会が出された意見等を踏まえ、本市の将来を担うIGABITO（伊賀びと）の育成に向け、より効果的な事業が実施されることを期待したい。

(2) 個別講評

【最優秀者】

提案者がこれまで実施した全国的な成功事例と本事業とのマッチングによる事業の広がりが期待できる。特に、本市におけるこれまでの実績として効果が弱かった一部の取組に対し、学校側が抱えるコース間の課題を理解した上で、提案者が持つノウハウや全国規模での高等学校のネットワーク、SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）の実績等を踏まえ、学校側に掛かる負担が気になるころではあるが、新たな視点でアプローチいただける可能性を感じた。また、提案者と3校との間に一定の関係性が質疑の中で垣間見れたことに加え、県内事業者という立地的優位性も評価された。

4年目となる本事業が、将来的な展開を見据え次のステップに移行するに相応しい提案であった。

自信に満ち溢れたプレゼンテーション及び質疑に対する回答には、強い説得力があり期待が持てる提案であった。

【次点者】

これまで本事業を受託いただいていることからその優位性を活かし、事業の目的を理解したうえで、すでに各学校との信頼関係が構築されていることから、事業遂行上の課題に対し、何をすべきかを把握いただいている。また、全体スケジュールでは、これまでの経験に基づき具体的に記載されているので安心感を持つことができた。

特に業務項目において、上野高等学校3年生への支援（追加提案）では、学校側からの要望に沿った提案、そして、あけぼの学園高等学校のシチズンシップ教育では、現状分析に基づき提案いただいた多文化共生に関する取組は、大変興味深い提案であり評価が高かった。しかし、安定した運営で学校が行う取組支援については十分期待できる反面、本市が期待する民間事業者のノウハウ、新たな知見や新たな視点に立った事業支援の面では少し弱く、これまでの取組からの変化を感じる事が少ないことに加え、学校側の自立性の障壁となることが懸念された。

また、企画提案書について、提案内容に大きく影響を及ぼす修正があったことから、審査の結果、減点の対象となった。

IGABITO（伊賀びと）育成促進事業（高校連携）

業務委託プロポーザル審査委員会

委員長 宮崎 寿